

令和8年3月4日

各報道機関文教担当記者 様

地球環境の変化とヒト・生物への影響を理解する 金沢大学環日本海域環境研究センター 共同研究成果報告会

金沢大学環日本海域環境研究センターは、「2025年度共同研究成果報告会」を2日間の日程で開催します。

本センターは、文部科学省の共同利用・共同研究拠点として、国内外の関連機関と連携し、環日本海域に関連する自然環境の解明を目指した応用的な共同研究を推進しています。

今回の成果報告会では、大気・陸域・海洋での重金属・農薬・多環芳香族炭化水素類などの有害物質濃度の時空間的な変動や移行挙動、さらには、化学物質の暴露状況やヒトの健康への影響・海洋生物に対する汚染の影響など多岐にわたる研究成果を紹介します。本センターの研究活動は、地球と人間の健康を相互に考えるプラネタリーヘルスの考え方に基づく取り組みです。そこで今回は、「ポストSDGs時代のプラネタリーヘルス：地球と人類の「成熟」に向けた研究と実践」とした基調講演、さらには、最近の気候変動に対する我々の関わり方について「気候の危機にどう向き合うか」と題した基調講演も予定しており、国内外の各種の環境問題を理解するために必要な情報・研究成果を紹介します。

については、事前および当日の取材・報道をよろしくお願ひします。

記

金沢大学環日本海域環境研究センター 「2025年度共同研究成果報告会」

日 時： 令和8年3月12日（木） 9：00～17：30
3月13日（金） 9：00～13：00
場 所： 金沢大学自然科学系図書館棟 大会議室（オンライン併用）
詳 細： 別添チラシのとおり
主 催： 金沢大学環日本海域環境研究センター

以上

<本件照会先>

環日本海域環境研究センター教授 長尾

Tel：076-234-6961

E-Mail：seiya-nagao@se.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学理工系事務部総務課総務係 多賀

Tel：076-234-6826

E-Mail：s-somu@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学環日本海域環境研究センター 2025年度共同研究成果報告会

日時：2026年 3月 12日(木) 第1部 9:00-17:30
2025年 3月 13日(金) 第2部 9:00-13:00

開催方法：ハイブリッド開催
現地会場：金沢大学自然科学系図書館棟 1階 大会議室
オンライン：Zoom

参加申込フォーム

※参加希望の方は、下記URLまたは右のQRコードからお申込みください。(2月20日締切)

<https://forms.gle/K3mYtNAvdzPW35Mn8>



参加申込フォーム

報告会Webページ

<https://www.ki-net.kanazawa-u.ac.jp/symposium/2025houkokukai/>



基調講演 (3月12日)

9:20-10:00

「ポストSDGs時代のプラネタリーヘルス — 地球と人類の「成熟」に向けた研究と実践 —」

北海道大学 大学院保健科学研究所 人類生態学研究室 教授 山内 太郎 氏

16:40-17:20

「気候の危機にどう向き合うか」

東京大学 未来ビジョン研究センター 教授 江守 正多 氏

プログラム

3/12
(木)

9:00 - 9:20 開会挨拶/共同利用・共同研究拠点の活動状況
9:20 - 10:00 基調講演①
10:00 - 11:00 重点共同研究課題 (2件)
11:15 - 12:30 大気環境領域 一般共同研究課題 (5件)
13:20 - 15:20 ポスターセッション
15:30 - 16:30 統合環境領域 一般共同研究課題 (4件)
16:40 - 17:20 基調講演②
17:20 - 17:30 記念撮影

3/13
(金)

9:00 - 10:30 博士後期課程学生育成共同研究課題 (6件)
10:40 - 11:40 陸域環境領域 一般共同研究課題 (4件)
11:40 - 12:40 海洋環境領域 一般共同研究課題 (4件)
12:40 - 13:00 閉会挨拶・記念撮影

